

求人お申し込みについてのお願い

毎年、本学学生のためにご支援いただきましてありがとうございます。
 今後も求人採用・人材育成の面で貴重なご縁がいただければ幸いです。
 求人に際しましては、次の点にご留意いただき、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- 本学学生に対する教諭および保育士の求人業務は、大学・短期大学部ともに本学「教職センター」が担当しております。
- 採否の結果につきましては、応募形式に関わらず、学生にご通知くださいますようお願いいたします。

【求人のお申し込み方法】

■インターネット「求人受付NAVI」からのお申し込み【推奨】

ご提供いただいた内容を速やかに公開するため、求人情報は大学共同参加サイト「求人受付NAVI」(運営:株式会社ジェイネット)で承ります。お手数ですが、下記のウェブサイトからお申し込みくださるようお願いいたします。なお、ご登録は任意のIDとパスワードが必要となります。

求人受付NAVI → <https://www.kyujin-navi.com/uketsuke/>

■ご郵送やFAX、メールでも求人承っております。下記まで求人票をお送りください。

鎌倉女子大学／鎌倉女子大学短期大学部 教職センター

事務取扱時間:土・日・祝日を除く 8時30分～17時

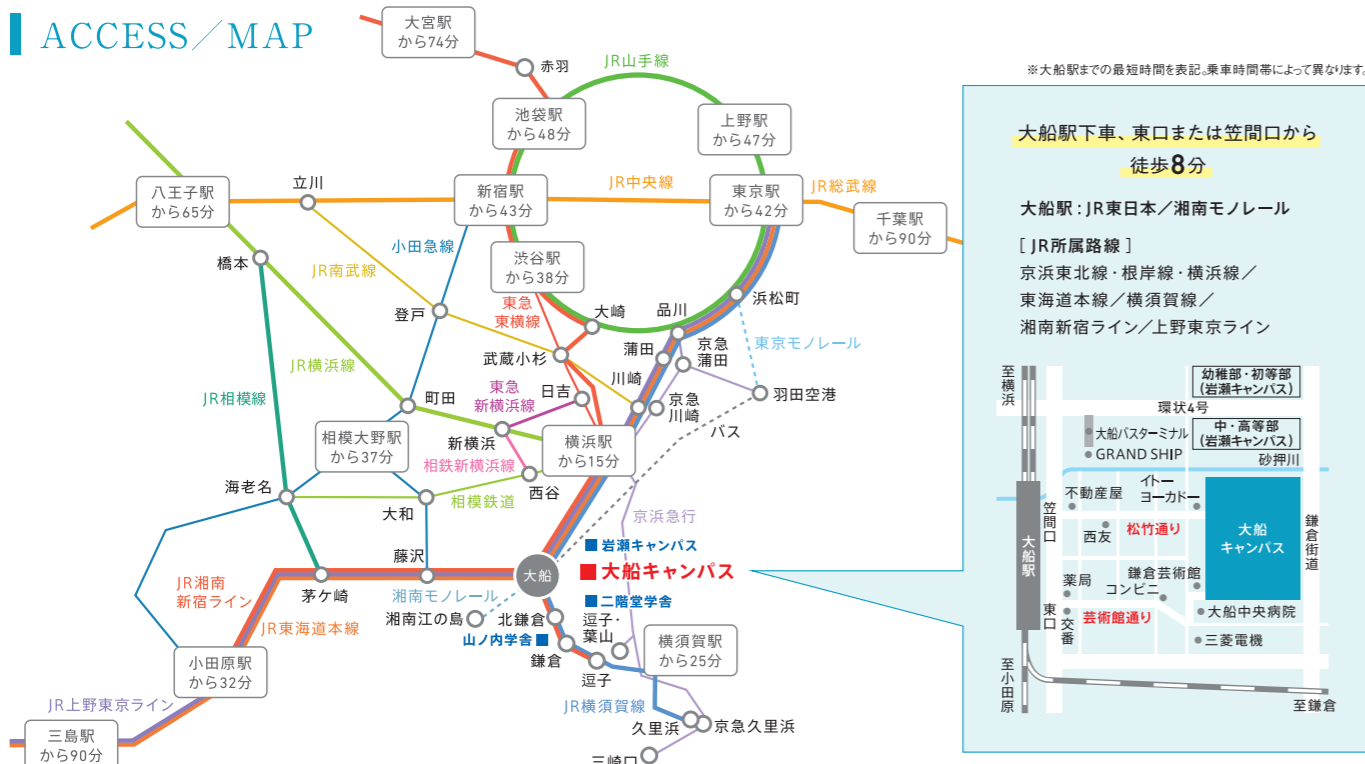
住所 〒247-8512 鎌倉市大船6丁目1番3号 TEL 0467-44-2164

FAX 0467-44-2165 E-mail kyoshoku@kamakura-u.ac.jp

【求人受付時の自己申告書と青少年雇用情報シートのご提出について】

青少年の雇用の促進等に関する法律(若者雇用促進法)の施行により、本学へ「求人受付NAVI」を利用しないで求人票をお送りいただく際には、「自己申告書(チェックシート)」のご提出が別途必要となります。なお、「自己申告書(チェックシート)」のご提出のない求人情報につきましては、受理できない場合がございます。また同法により、職場情報の積極的な提供を目的として「青少年雇用情報シート」の提出が努力義務となりました。ご協力いただきますようお願いいたします。「自己申告書(チェックシート)」及び「青少年雇用情報シート」は本学ホームページからダウンロードしてください。

ACCESS / MAP



本冊子には2020年3月以前に撮影を行った写真も使用しています。新たに撮影した写真については、新型コロナウイルス感染拡大防止に万全を期し、徹底した対策を講じた上で撮影を行いました。

2023年7月発行

令和5年度

求人のためのご案内

人間力あふれる教育・保育者を求める皆さまへ



鎌倉女子大学
 鎌倉女子大学短期大学部

教職センター



教育・保育者としての専門性と優れた人間力を養成しています



理事長・学長
福井 一光

鎌倉女子大学は、「感謝と奉仕に生きる人づくり」を教育の理念に掲げ、学祖・松本生太（1880-1972）により、昭和18年に創設されました。

学祖は、今日の時代を逸早く見通し、「科学的教養と優雅な性情」を兼ね備えた聡明な女性の養成を目指した創造的私学人でありました。

本学は、こうした創設者によって模範的に示された建学の精神を日々の教育研究を通じて実現しようとする私学らしい私学として、80年の歩みを重ねてまいりました。

学部・学科は、大学院（児童学研究科）／家政学部（家政保健学科・管理栄養学科）／児童学部（児童学科・子ども心理学科）／教育学部（教育学科）／短期大学部（初等教育学科・専攻科）から構成され、特に実学の伝統を旨とし、教職員一丸となって家政

学・保健学・栄養学・食品学・衛生学・教育学・児童学・心理学・保育学・表現学・教養学等々にわたる役に立つ知見とスキルの修得を目指しています。

また、教職員が率先垂範する登下校時の校門での一礼や、『論語』の教えにある「日に吾が身を三省する」静かな黙想の時間の実践、「人・物・時を大切に」といった人間としての心掛けや、「ぞうきんと辞書をもって学ぶ」といった行動を伴う学習の姿勢は、そのまま、私たちが善き職業人、また善き社会人として生きる上でのモットーと考えています。

鎌倉女子大学は、自らが他者のお蔭で生きている事実に感謝し、自らが培った知識と技術をもって、自らが他者のために生きようと奉仕することのできる、希望と活力に満ちた卒業生を社会に送り出すことを願っています。

鎌倉女子大学沿革

昭和18年	学祖・松本生太によって、京浜女子家政理学専門学校として横浜市神奈川区に設立	平成元年	平成の幕開けとともに校名を鎌倉女子大学と変更
昭和20年	第二次世界大戦下の横浜大空襲により校舎全焼 焼け残った学寮などを利用し、教育を継続	平成12年	鎌倉女子大学に学術研究所、生涯学習センターを設置
昭和21年	現在の鎌倉市岩瀬にキャンパス用地を求め学園再建の第一歩をしるす	平成13年	鎌倉女子大学短期大学部に専攻科を設置
昭和23年	京浜女子家政理学専門学校附属中学校を設立	平成14年	鎌倉女子大学に児童学部を設置、 児童学科、子ども心理学科を設置
昭和25年	学制改革により京浜女子短期大学（家政科・保健科）を設立 京浜女子短期大学附属高等学校、同附属幼稚園を設立	平成15年	大船キャンパス開設、鎌倉女子大学、同短期大学部が移転 家政系学科を改組し、家政学部家政学科、管理栄養学科を設置
昭和26年	京浜女子短期大学附属小学校を設立	平成17年	家政学科を拡充し、家政保健学科を設置
昭和32年	京浜女子短期大学に初等教育科を設置（保健科を家政科に統合）	平成18年	大学院児童学研究科を設置
昭和34年	京浜女子大学を設立し、家政学部家政学科を設置	平成19年	児童学部に教育学科を設置
昭和37年	京浜女子大学短期大学部に初等教育科第2部を設置	平成21年	鎌倉女子大学に教育学部を設置
昭和39年	京浜女子大学家政学部児童学科を設置	平成24年	学術研究棟竣工
昭和41年	京浜女子大学家政学部家政学科を 家政学専攻と管理栄養士専攻に分離	令和 3年	岩瀬キャンパスに中等部・高等部 新校舎竣工
昭和55年	学祖の生誕百年を記念し、松本生太記念学舎竣工	令和 5年	創立80周年を迎える



将来の可能性を広げる

[学部・学科]

大学院

児童学研究科



児童学に関する高度な専門性を身につけ 子どもの成長に貢献できる人材に

児童関連分野の総合的な研究を通して、今日の児童をめぐる課題解決へ向けての理論を探究し、応用実践力を身につけます。児童に関わる高度な専門性と豊かな人間性を併せもち、児童の幸福と成長に貢献する人材を育成します。

家政学部

家政保健学科



くらしと健康に関する専門家として 社会に貢献する女性に

家庭や地域、企業活動など私たちの身近にある課題について、一人の生活者や女性の視点で追究する力を養います。時代に合った新しいライフスタイルや、健康で快適な生活を自ら創造するくらしのリーダーを育てます。

管理栄養学科



社会のニーズに応えられる健康管理や 栄養教育の専門家

食・栄養・健康に関する高い専門知識と技術の習得を通して、生命を尊ぶ心を育みます。現代社会が求める、医療・福祉・保健・教育の活動に貢献するスペシャリストを育てます。

児童学部

児童学科



時代や社会に求められる 「子どもの専門家」に

児童の教育・福祉(社会)・心理・保健・表現文化の5分野を軸に、総合的な教育・研究を行います。また、今日の教育課題など、時代や社会が求めるニーズに対応できる、臨床の実践力の高い「子どもの専門家」を育成します。

子ども心理学科



子どものこころと行動を理解し その成長を支援できる人に

心理学の理論と方法を用いて、乳幼児期から青年期までの子どものこころと行動を理解し、その成長を支援できる知識と援助方法を身につけ、教育・福祉・医療関連分野及び企業で活躍できる人材を養成します。

教育学部

教育学科



教育学的知見と実践的指導力に優れた 専門分野に強い教育のプロへ

教育や人間形成について、さまざまな角度から学び、子どもの気持ちを理解できる人間性と指導力を身につけます。専門性の高い教授スキルと深い人間的理解を備えた教員と、教育学的知見をもった企業人を養成しています。

短期大学部

初等教育学科



子どもの教育や保育に携わる 心豊かな専門家に

乳幼児期から児童期までの、子どもの初等教育や保育に必要な専門知識と心豊かな人間性、高い倫理観を育て、幼児・児童教育や乳幼児福祉の場に求められるリーダーの資質や応用力を身につけた人材を育成します。

専攻科



子どもをめぐる環境の変化に対応できる 高度な専門性を備えた人材に

子どもをめぐる環境の変化とともに、幼児教育や乳幼児福祉に携わる教員・保育士には、より高度な専門性が求められています。専攻科では、こうした社会のニーズに応えられる力量をもった人材を育成します。

より質の高い教育・保育者養成のために

教育・保育者をめざす学生を総合的にサポートするために**教職センター**を設置しています。教員採用試験対策講座の開催のほか、教職全般に関する個別相談や、幼稚園教諭・保育士・保育教諭としての就職活動支援を行っています。試験対策・就職活動支援とともに信頼される教育・保育者となるために何が必要かを伝えています。

きめ細やかな指導

学生一人一人の希望や課題を把握し、きめ細やかな支援体制を整えています。教員採用試験対策講座をはじめ、保育士、幼稚園教諭、公務員など、学生の進路に合わせたガイダンスを開催するとともに、経験豊富な教職員や就職アドバイザーが面接対策などの個別相談に応じています。



個別相談

実践力を身につける

教育・保育実習においては、「養成・採用・研修に関する連絡協議会」を開催し、実習先と連携して実践力が身につくよう指導を行っています。実習のほかにも、学校や博物館、福祉施設などの教育現場で職業体験を行う「教職等インターンシップ」を開講し、学生の職業意識の向上と学習意欲の喚起を図っています。

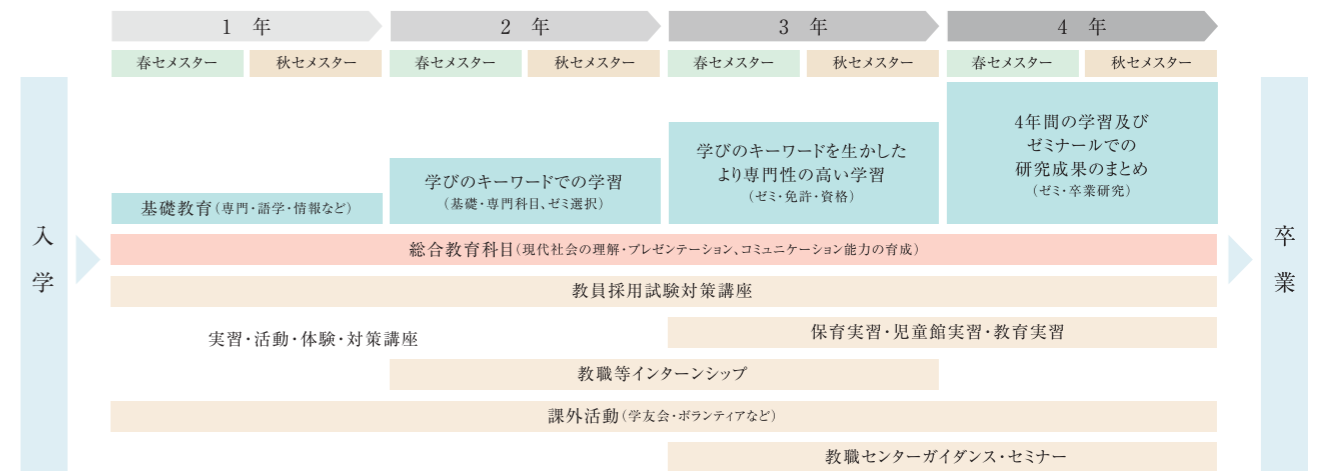


模擬授業

教師としての資質を磨く

教師として巣立っていく学生が自信をもって教職につけるよう特別講座を開催しています。また、神奈川県青少年センターや総合教育センターのご協力を得て、理科の実験授業や道徳教育のあり方など、教育現場の指導の実際や課題などについて学ぶ機会も提供しています。

[教職・就職支援プログラム]



就職活動全般の支援

満足度の高い就職を支援しています

手厚いサポートを実現しています。クラスアドバイザー・ゼミナール担当教員が就職センター・教職センターと連携しながら学生のキャリア形成を支えています。

就職活動全般をサポートする体制を整えています

- 就職活動スタートカウンセリング
- 学内業界・企業・職種研究セミナー
- 適性検査対策特訓講座
- 就職面接対策講座
- 就職内定者報告会
- 学内合同企業説明会 など

教職センター

教職センターでは教育・保育者をめざす学生を総合的にサポートする体制を整えています

教員採用試験対策

- 対策講座
- 教職等インターンシップ
- 教育実習サポート
- 教員採用試験ガイダンス
- 合格者報告会
- 合宿

幼稚園教諭・保育士採用試験対策

- 履歴書・作文等添削指導
- 対策講座
- 内定者報告会
- 保育実習・教育実習サポート
- 幼稚園教諭・保育士・保育教諭
就職活動ガイダンス
- 個別面談

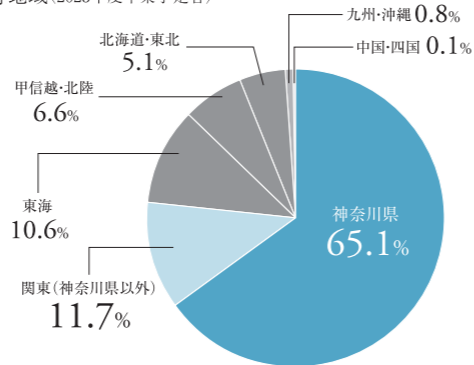
就職データ(2022年度)

幼稚園教諭・保育士採用数は、全国でも上位にランクされ、乳幼児の教育・保育者の育成に強みを発揮しています。

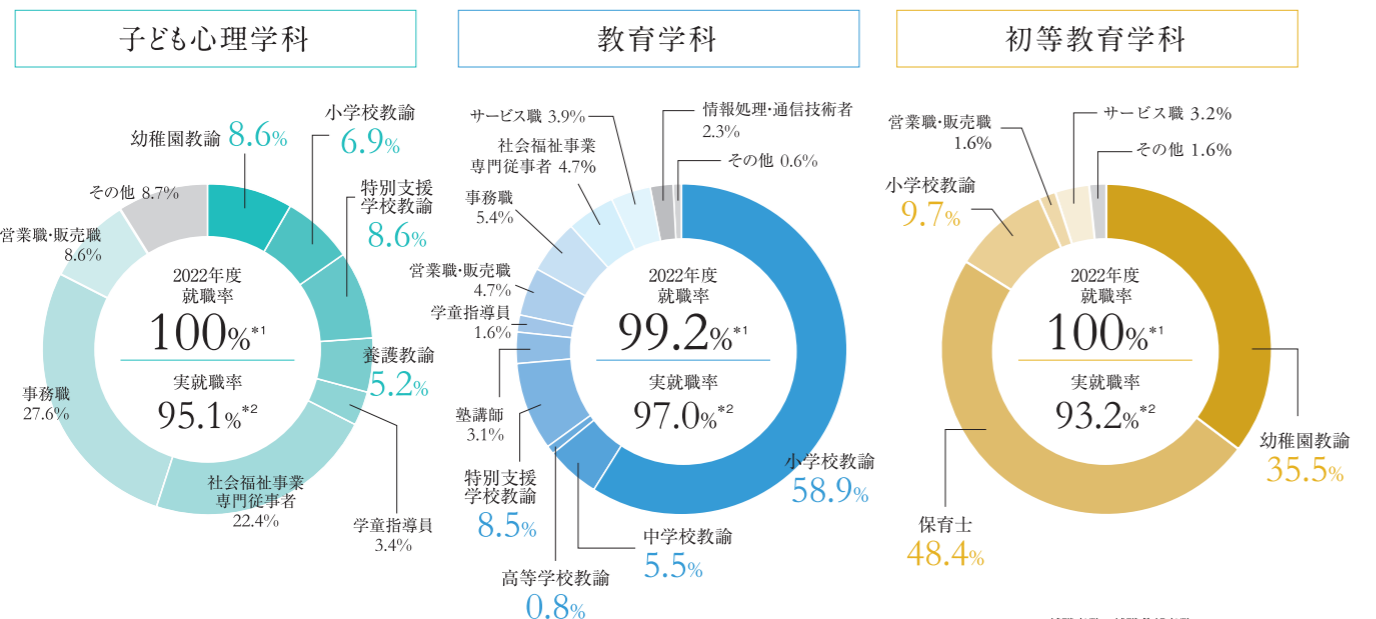
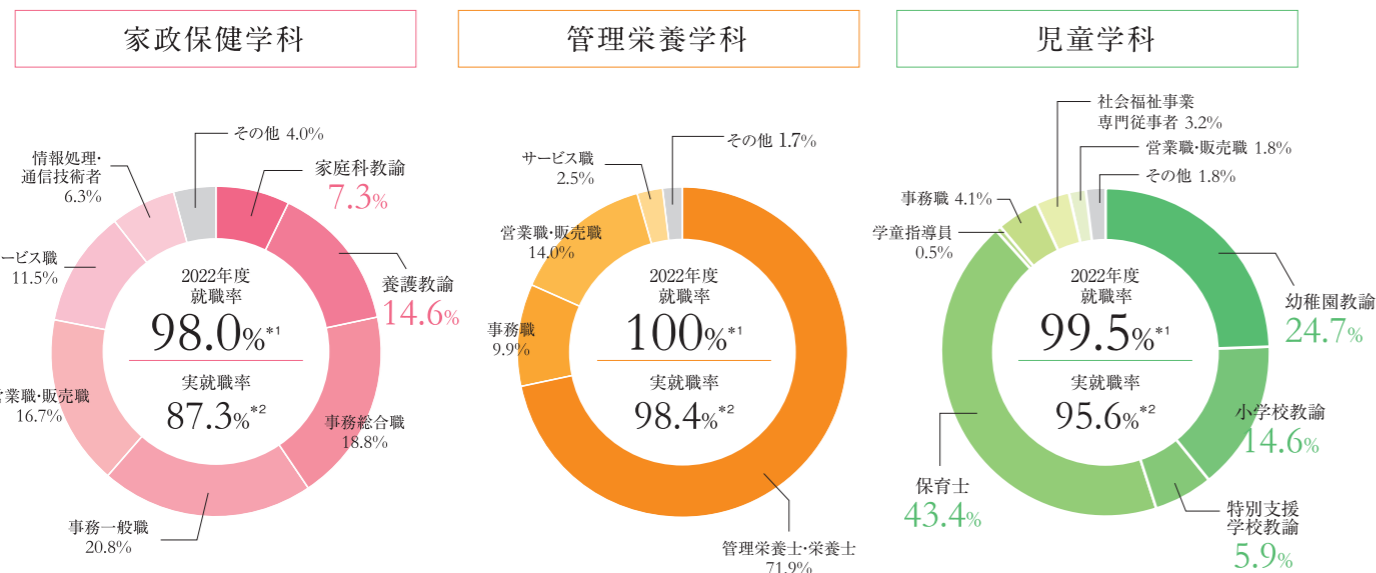
■ 教員および保育士の採用実績(臨任・非常勤含む)

職種名	採用人数
幼稚園教諭・保育教諭	107名
小学校教諭	124名
中学校教諭・高等学校教諭(国語科・社会科・家庭科)	15名
特別支援学校教諭	29名
養護教諭	17名
保育士	164名

■ 出身地域(2023年度卒業予定者)



・就職率とは就職希望者に占める就職者の割合です。
・円グラフは就職者の職種内訳を示しています。



*1 就職者数÷就職希望者数×100
*2 就職者数÷(卒業者数-大学院進学者数)×100

免許・資格取得者数(2022年度卒業生)

免許・資格名	取得者数
幼稚園教諭専修免許状	0
小学校教諭専修免許状	0
特別支援学校教諭専修免許状	0
公認心理師受験資格	5
学校心理師受験資格	0
臨床発達心理師受験資格	0
認定ムーブメント教育・療法中級指導者	0
中学校教諭1種免許状(家庭)	10
中学校教諭1種免許状(保健)	0
高等学校教諭1種免許状(家庭)	10
高等学校教諭1種免許状(保健)	0
養護教諭1種免許状	17
フードスペシャリスト	23
インテリアプランナー登録資格	3
准学校心理士	15
栄養士免許状	126
管理栄養士 国家試験受験資格	120
栄養教諭1種免許状	4
幼稚園教諭1種免許状	203
小学校教諭1種免許状	113
中学校教諭1種免許状(国語)	0
保育士	182
特別支援学校教諭1種免許状	44
児童厚生1級指導員	11
レクリエーションインストラクター	8
准学校心理士	3

免許・資格名	取得者数
認定心理士	64
公認心理師(養成カリキュラム)	12
認定ムーブメント教育・療法中級指導者	29
幼稚園教諭1種免許状	8
小学校教諭1種免許状	10
特別支援学校教諭1種免許状	8
養護教諭1種免許状	3
准学校心理士	11
小学校教諭1種免許状	106
中学校教諭1種免許状(国語)	39
中学校教諭1種免許状(社会)	13
高等学校教諭1種免許状(国語)	26
高等学校教諭1種免許状(地理歴史)	6
高等学校教諭1種免許状(公民)	5
特別支援学校教諭1種免許状	31
学校図書館司書教諭	17
学芸員	6
准学校心理士	7
幼稚園教諭2種免許状	156
小学校教諭2種免許状	60
保育士	139
准学校心理士	2
児童厚生2級指導員	4
レクリエーションインストラクター	7
秘書士	11
認定ムーブメント教育・療法中級指導者	15
キャンパインストラクター	11
自然体験活動指導者	10

免許・資格の組み合わせによっては、取得できない場合もあります。

卒業生の声



岡島 沙樹
児童学科 2023年3月卒業
栃木県 宇都宮短期大学附属高等学校出身
就職先
埼玉県立久喜特別支援学校

[取得した資格]

- 特別支援学校教諭1種免許状
- 小学校教諭1種免許状
- 幼稚園教諭1種免許状

一人ひとりの小さな成長を支えられる教員に

小学校教諭を目指していた私は、教員採用試験に強い大学で学びたいと思い、鎌倉女子大学に入学しました。複数の免許取得を考えたのも教員としての幅を広げるためです。そして2年次、特別支援学校でのインターンシップを経験して、特別支援学校教諭という新しい目標ができました。昨日は名前を呼ばれても黙っていた児童が、今日は「はい」と返事ができました。そんな小さな出来事でも、この学校の子どもたちにとっては大きな成長であることを知った時、私もそうした児童の成長を支えられる教員になりたいと考えました。複数の免許を取得できる仕組みがなければ、私はこの仕事に出会えなかったと思います。子どもの良いところを伸ばし、やる気を引き出せる教員を目指して頑張ります。



青木 琉菜
初等教育学科 2023年3月卒業
栃木県 作新学院高等学校出身
就職先
認定こども園陽南幼稚園

[取得した資格]

- 幼稚園教諭2種免許状
- 保育士
- 小学校教諭2種免許状

幼保小連携を強みに保育教諭として成長していきたい

私の理想の先生は、幼稚園の時の担任の先生です。5歳で「私もここで先生と働く!」と思ってから、夢に向かって走り続けてきました。小学校教育を学ぼうと思ったのも、幼稚園や保育所から小学校に進んだ際の子どもの戸惑いを少しでも軽減したいと考えたからです。時には思いが強くなり、母園での教育実習では先生方の動きを学ぶことばかりに気を取られて、園児たちとの時間が後回しになってしまいました。「教育実習生も先生のひとり。子どもと楽しく関わることが一番大切なんだよ」と先生方に諭され、やっと肩の力を抜くことができた時の安堵感をいまでも覚えています。春からは憧れの先生と母園で働きます。初等教育を多面的に学んだ強みを生かして成長していきたいです。